



# 動物レスキュー通信

2019年8月 第75号 (令和元年8月1日発行)

発行元  
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長  
愛玩動物飼養管理士 一級  
ペット災害危機管理士 三級  
お問い合わせ : szuku.foundation@gmail.com

## テクノロジーの進化と 「コラボ」オノアーマルとの暮らし

科学技術が進歩し、便利な道具が発明され、新技術に基づいたサービスが提供されるようになると社会が変化し、そして私たちの生活が大きく変わります。人類史上ではこうした変化は何度も起ってきましたが、この半世紀、特に平成の時代には最も大きな変化が様々な分野で起りました。

人間の頭脳の代わりとして「コンピューター」が開発されました。そして、その「コンピューター同士が回線によって繋がり、大きなネットワークを形成しました。これが現代の生活には欠かせないものになってしまった「インターネット」です。このインターネットが一般に普及するようになり、私達の生活は大きく変化しました。かつてのSF映画の中では夢として描かれていた事が、今では当たり前になっています。誕生したばかりの「コンピューター」は驚くほどに迅速な処理能力、そして記録できる容量も非常に小さいものでした。それからわずか半世紀余りで「コンピューター」は驚くほどに小型化され、小さな機器の中に大容量の記録とハイスピードの処理能力、そしてできる事が大幅に増えました。そして1990年代には携帯電話が一般に普及し、2001年には携帯電話でのインターネット接続が当たり前になりました。それから、私たちの生活に溶け込み、なくてはならないものとなりました。インターネットやスマートフォンの進化が、「コラボ」オ

アーマルと飼い主さんとの絆を深める役割の一部を担っていると言えます。

### 様々な便利なもの



例えば「ワンちゃん、ネコちゃんの首に首輪型の行動センサーを装着する事でその動きを分析し、興奮している落ち着いている、喜んでいる、困っているなどの気持ちを分析し、その結果をスマートフォンアプリで確認する事が出来ます。又、食事の際の咀しゃく状態を測定して食欲を解析したり、熱中症の危険などもお知らせしてくれます。これらはクラウド以上の人工知能解析サーバに記録され、データが蓄積される事によって徐々に学習し、その精度が向上します。又、この3年以内に大猫へのマイクロチップ装着の義務化が施行されますがマイクロチップは個体識別を行うために動物の身体に埋め込むICタグで、その中には個体識別番号などが書き込まれてあるだけで、それは通信されるものではなく、あくまで専用のリーダーで読み取るだけとなり、マイクロチップを装着しているからと言つて、迷子になつた「ワンちゃん、ネコちゃん」の位置確認をする事などはできません。ですから、迷子が心配だという飼い主さんはデジタル迷子札として使用できるデバイスを活用するのをお勧めします。又

このように「テクノロジーの進化と「私達」と「コラボ」オノアーマルとの絆や暮らし」とは大きく関わりがあります。そしてこのテクノロジーは日々進化し続けるはずです。私達詩月財団では、この進化し続けるテクノロジーを活用する一環として、プロジェクト「KATANA PROJECT」、お葬儀プロトユース会社NTK「フランプ」と提携し、私が亡くなった愛猫「るる」を宇宙船に乗せ月面に着陸させ宇宙葬を行う計画があります。その「るる」と一緒に殺処分されてしまった犬猫の遺骨の一部も連れて行こうと考えています。生活の一部でもあるテクノロジーを大いに活用して愛犬・愛猫との絆を深める事によって、不幸なワンちゃん、ネコちゃんが必ず減る」と信じております。(詩月)

が簡単にできます。「ワンちゃん、ネコちゃんが普段とは違う行動を見せた時や、体温が悪そうな時なども、病院の検索や緊急性などもいち早く知る事が出来ます。その他、飼い主さんが外出中でも、室内カメラとスマートフォンを連携させる事によってしまった時などには自動給餌器や自動給水機などを使用すれば安心してお出かけする事が出来ます。又、飼い主さんが留守中のワンちゃん、ネコちゃんの熱中症対策にはスマートフォンと運動すれば外出先からエアコンの遠隔操作を行う事が出来、留守中の温度管理が簡単に行えます。このように愛猫、愛犬との絆を深めるためにもテクノロジーは不可欠になっています。そしてこれから、素敵なパートナーを見つける飼い主さんにとっても、里親になるきっかけのツールとして、インターネットが多く活用されています。出会いだけではなく、里親になる準備や心構えなどを勉強するためにも大切なメディアです。